

公安委員会定例会議(第8回)の開催状況

- 第1 日時 令和8年3月25日(水)
午後2時10分 ~ 午後3時51分
- 第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長
- 第3 議事の概要
- 1 決裁事項
 - (1) 公安委員会定例会議会議録
総務室から、令和8年第7回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。
 - (2) 愛媛県公安委員会事務専決規程の一部改正
交通部から愛媛県公安委員会事務専決規程の一部改正について伺いがあり了承した。
 - (3) 犯罪被害者相談員の選任
総務室から犯罪被害者相談員の選任について伺いがあり了承した。
 - (4) 愛媛県警察新型インフルエンザ等対応業務継続計画の改定
警備部から愛媛県警察新型インフルエンザ等対応業務継続計画の改定について伺いがあり了承した。
 - (5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、20件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。
 - 2 報告事項
 - (1) 令和8年度刑事部における新たな組織の発足
刑事部長から、令和8年度刑事部における新たな組織の発足について報告があった。
委員から「捜査部門と分析部門が統合されることで、体系的かつ効果的な組織が発足することがよくわかった。警察庁とも連携しながら匿名・流動型犯罪グループ等の検挙に努めてほしい」との発言があった。
委員から「組織内の連携強化や捜査の効率化が推進され、様々な事件の検挙に繋がることを期待している」との発言があった。
委員から「匿名・流動型犯罪グループによる犯罪は、県民の体感治安に直結することから、防犯カメラ捜査等を効果的に推進することで、事件検挙に繋がることを期待する」との発言があった。
 - (2) 春の全国交通安全運動の実施
交通部長から、春の全国交通安全運動の実施について報告があった。
委員から「高齢者による交通事故の割合は依然として高いことから、

交通安全運動を通じて少しでも高齢者の事故が減ることを願う」との発言があった。

委員から「県民が『人の輪作戦』などに参加することは、交通安全の意識が広がるきっかけとなるので、関係機関等と連携して積極的に取り組んでほしい」との発言があった。

委員から「新学期に伴い、自転車を利用する学生も増えるため、4月1日から始まる自転車の青切符制度も周知しながら、交通安全の意識が高まるような活動を効果的に進めてほしい」との発言があった。

(3) 初任科第190期卒業式の実施

警察学校長から、初任科第190期卒業式の実施について報告があった。

委員から「熱意ある教官の指導や、同期生との切磋琢磨により、頼もしく成長したと感じる。配属先で活躍することを期待している」との発言があった。

委員から「厳しい学校生活を乗り越えた節目として、記念に残る式典としてほしい」との発言があった。

委員から「社会経験を有している今回の卒業生は、総合的な対応力を身に付けており、非常に頼もしく感じる。卒業後は、警察署で県民の安心・安全のために頑張ってもらいたい」との発言があった。

(4) 現住建造物等放火事件被疑者の逮捕

刑事部から、現住建造物等放火事件被疑者の逮捕について報告があった。

(5) 在留外国人等安全対策への取組状況

警務部から、在留外国人等安全対策への取組状況に関する報告があった。

(6) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

以上